

# 2022年度エコ・カレッジ（職域コース）閉講式

～職域コース 38名、職域アドバンスコース 44名が修了～

1月25日に、第6回エコ・カレッジ（職域コース）をホテルレイクビュー水戸で開催しました。テーマを「茨城県地球温暖化防止活動推進員の事例報告」として、2名の推進員に発表していただきました。その後、閉講式を行い2022年度の全日程を終了しました。

## 【地球温暖化防止活動推進員の事例報告】

以前から活躍されている推進員が活動事例を紹介しました。エコ・カレッジ（職域コース）の修了生の多くが推進員となり、各地域で温暖化防止活動を行っています。修了生が推進員となった際の参考になる活動事例や多方面において連携・協力してさらなる効果を得るためのノウハウ等を紹介するために開催したものです。

### ・大学の地域協働 SDGs プロジェクト

常磐大学 元准教授

松原 哲哉 氏

松原推進員は、2015年度エコ・カレッジ（職域コース）を修了し、翌年度から推進員として活動し、昨年まで常磐大学の准教授としてご活躍されました。

初めに、松原推進員が常磐大学において取組んできた2つのプロジェクトについての説明がありました。1つ目は「常磐大学ファーム」プロジェクトについてです。過疎化、高齢化が進行する常陸太田市金砂郷における耕作放棄地の再活用により、学生たちが小麦や地域の特産である常陸秋蕎麦の栽培などを



実践し、栽培した収穫物を利用したイベントである「常陸秋蕎麦収穫祭」は地域の方々との交流の場として開催されました。また、「石窯ピザキャラバン隊」は被災地や地元常陸太田市などで実施され、大学教育では経験できない人と人との交流の場となっていることが報告されました。

2つ目に「常磐の森再生」プロジェクトについてです。最も身近な大学構内や隣接する沢渡川流域に広がる「常磐の森」での環境活動として、森の「再生」と、近隣で絶滅に瀕しているゲンジボタルの「再生」に取組み、荒廃した森の整備から小川の浚渫、植樹などを含め、子どもたちの環境教育の場づくりをされました。

このような活動を通して、地域で同種の活動をしている逆川こどもエコクラブや英宏小中学校などと連携しての各種環境イベント参加協力など「ホテルネットワーク mito」の形成に繋がり、常磐大学としては低炭素杯2015で「最優秀わくわく未来賞」、低炭素杯2019で「マクドナルドオーディエンス賞」を受賞されました。

最後に、大学教育におけるプロジェクト型の地域環境教育の重要性として、身近な地域の問題を自分自身で発見し、その改善を実行するための各種能力を、身近な地域

での活動を通して育成していくこと、更には地域のモノや人が持つ潜在的な価値の発見を体験を通して得られることで、学生たちが自信や誇りを回復させていくことであると熱く語られました。そしてまずはアクションを起こし、次世代の地域の担い手の育成をしていくことが、本当に大切であると説明していただきました。

・企業のカーボンニュートラルの取組 **東部燃焼株式会社**  
代表取締役社長 **岡田 晃 氏**

岡田推進員は、2020年度エコ・カレッジ（職域コース）を修了され、翌年度から推進員として活動し、東部燃焼株式会社の代表取締役社長として日々ご活躍されています。

元気の挨拶から始まり、会社の経営理念にある「地域経済の発展に寄与します」の重要性について、SDGsに向けた取組みを実践していくことでしっかりと進めていることなど、経営理念に込めたご自身の思いや、同社のマスコットキャラクターである「モユ太」について、名前の由来などの説明の中で、会場から笑いをとるなどして、はっきりとした口調と人を引き付ける話し方で会社についての思いをお話していただきました。特に強調されたのがSDGsの取組みとして3つのテーマ「人材育成の推進」「地域社会への貢献」「課題解決型の事業」であり、特にその中でも「人材育成の推進」に注力されていることを説明していただきました。



また、脱炭素チャレンジカップへの協賛や千波湖ソーラー街路灯の寄贈、千波湖学習会への参加、各SDGsフォーラムの開催などを通して、様々な環境活動に企業として真摯に向き合いながら実践していることが分かりました。そして本社屋上の太陽光パネル設置や電気自動車の導入など、カーボンニュートラルで地域のレジリエンスにつながることも進んで取組まれたり、環境器具商品の共同開発などにも積極的に取組み、地域におけるオンリーワン企業に向けて着実に成果を上げ続けています。

最後に、人とのつながりを大切にしながら、人とは違うことに取組んでいくことの重要性と、その取組みを周りに自慢していくことが大切であると熱く語られました。

・茨城県地球温暖化防止活動推進員について  
茨城県県民生活環境部環境政策課地球  
温暖化対策グループ主任 **奥田 雅俊 氏**

「地球温暖化防止活動推進員とは」や「推進員の活動内容」などについて、また「委嘱要件」や「留意事項」などについて、推進員の新規委嘱者募集に対して分かりやすく説明していただきました。



## 【閉講式】

同日、閉講式を開催しました。来賓の茨城県県民生活環境部環境政策課の佐藤隆史課長から祝辞をいただき、当協会の猿田理事長から職域コース及び職域アドバンスコースの受講者一人ひとりに修了証書を授与しました。その後、記念撮影を行い、2022年度のエコ・カレッジ全課程を終了しました。

職域コースの修了者は38名、職域アドバンスコースの修了者は44名でした。2023年度も最新のカーボンニュートラルやサーキュラーエコノミーなどの情報を組み込みながら実施しますので、ぜひ、ご参加ください。



職域コース、職域アドバンスコース修了の皆様

## 【2022年度エコ・カレッジの開催結果】

- 第1回 7月28日 開講式／気候変動への備えと再生可能エネルギー
- 第2回 8月25日 廃棄物処理と地域循環共生圏ローカルSDGs
- 第3回 9月28日 生物多様性／「サーキュラーエコノミー」循環型経済の推進
- 第4回 10月21日 現地視察（星野村天文台／こみゅたん福島）
- 第5回 11月24日 大気・廃棄物・水質の最新法令と我が国の動向
- 第6回 1月25日 地球温暖化防止活動推進員の事例報告／閉講式